

愛媛南予の景観と世界農業遺産に関する 国際シンポジウム

International Symposium on the Ehime Nanyo Landscape and GIAHS

日時: 2026年1月24日(土) 13:30~16:25

形式: 下記会場とオンライン(Zoom)のハイブリッド形式

会場: 八幡浜みなと交流館(愛媛県八幡浜市沖新田1581-23)

プログラム(日本語・英語 通訳予定)

共催: 愛媛大学

愛媛県南予地域農業遺産推進協議会

13:30~13:35 開会挨拶

高門 清彦(愛媛県伊方町長、愛媛県南予地域農業遺産推進協議会監事)

13:35~14:20 基調講演1

「地域と世界をつなぐ若手農家と世界農業遺産の持続可能性」

MAK Sau-Wa, Veronica (Associate Professor, Hong Kong Shue Yan University)

14:20~15:05 基調講演2

「愛媛南予の景観の魅力と発展性」

木村 謙児(八幡浜みなと交流館館長)

15:05~15:20 休憩

15:20~15:50 事例紹介

「有田・下津地域の石積み階段園みかんシステム」

和歌山県有田・下津地域世界農業遺産推進協議会

「クヌギ林とため池がつなぐ国東半島・宇佐の農林水産循環」

大分県国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会

「武蔵野の落ち葉堆肥農法」

世界農業遺産武蔵野の落ち葉堆肥農法推進協議会

15:50~16:20 パネルディスカッション「愛媛南予の景観の未来」

コーディネーター: RUPPRECHT Christoph(愛媛大学, 社会共創学部, 准教授)

パネラー: MAK Sau-Wa, Veronica (Associate Professor, Hong Kong Shue Yan University)

木村謙児(八幡浜みなと交流館館長), 亀井彩香(西予市地域おこし協力隊(隊員)),

三崎高等学校生, 後藤理恵(愛媛大学南予水産研究センター長)

16:20~16:25 閉会挨拶

治多 伸介(愛媛大学大学院農学研究科長・農学部長)

参加登録 (無料)



左記QRコードより, お申し込みください。
締め切りは, 1月22日(木)ですが, 定員
(会場: 80名, Zoom: 100名)に達し次第,
締め切ります。



【問合先】愛媛南予の景観と世界農業遺産に
関する国際シンポジウム事務局
松山市樽味3-5-7 愛媛大学農学部内
e-mail: nogvoisan@agr.ehime-u.ac.jp
TEL: 089-946-9803/FAX: 089-946-9963